

災害時に大きな力を発揮する「水を使わないトイレ」の普及について

ねもと地域力・防災グループでは、地震や水害などの大規模災害発生時に、一番厄介な問題となる「トイレ」について、簡単に解決可能な「***水を使わないトイレ**」を普及していこうと、根本校区を対象として、「水を使わないトイレ使用方法の体験会」を町内会単位で実施しました。

「水を使わないトイレ」が根本校区以外にも広がっていくことで、大規模災害時であっても、清潔に生活を送ることができるエリアが広がります。

まずは、区長さんや役員さんに覚えていただく「体験会」を実施できますので、ご興味のある区長さんは是非ご連絡ください。



町内会集会所での体験会の様子

* 水を使わないトイレ

水分を吸わせる物（凝固剤）と45リットルのごみ袋があれば水を使わないで自宅のトイレを使用でき、使用後は「燃えるごみ」として出せます。

<連絡先>

多治見市役所くらし人権課：0572-22-1134（直通）

ねもと地域力・防災グループ（根本地区地域力向上推進会議）

高橋 重久、塚本 邦夫